

中学2年 社会

2学期期末テスト予想問題

50分・100点 大問8題・小問40問

解答と解説・記述問題の採点基準

想定する範囲

地理：日本の諸地域（九州から北海道）
歴史：欧米の近代化、開国と幕府の終わり

日本の諸地域の総復習を含む地歴並行モデルです。学ぶ時期は学校・教科書で異なります。帝国書院の計画例では、九州は1学期、中国・四国～関東は2学期、東北・北海道は3学期です。学校の範囲外の大問は、復習・先取り練習として使ってください。

地理だけで受ける場合：第7問・第8問の代わりに、末尾の「差し替え7・8」を解いてください。本編と差し替えの両方は採点しません。12点+14点を交換するため、40小問・100点・50分は変わりません。

大問	学習内容	配点	得点
1	九州地方の自然と産業	12	／12
2	中国・四国地方の気候と交通	12	／12
3	近畿地方の都市と環境	12	／12
4	中部地方の自然と産業	14	／14
5	関東地方の人口と都市	12	／12
6	東北・北海道地方のくらしと農業	12	／12
7	欧米の政治と産業の変化	12	／12
8	開国と江戸幕府の終わり	14	／14
合計	40小問	100	／100

語句問題は原則として正答で2点。記述は模範解答と同じ文でなくても、必要な内容が合っていれば採点します。部分点は各問の基準に従ってください。意味が変わる誤記は正答にしません。

学習指導要領と教科書会社の公式計画を参考にしたオリジナル問題です。特定校の出題や出題率を保証するものではありません。
範囲の根拠・資料の出典は解答解説に掲載しています。

第1問 九州地方の自然と産業

〔12点〕

(1) シラス台地〔2点〕

水がしみこみやすい性質があり、水田には工夫が必要です。畑作や畜産などにも利用されています。

採点 正答で2点。

(2) 畜産〔2点〕

畜産は肉・乳・卵などを生産する農業です。「酪農」は乳牛を飼って生乳を生産する畜産の一部です。

採点 正答で2点。

(3) 促成栽培〔2点〕

生育を早めて早い時期に出荷します。冷涼な気候で出荷を遅らせる抑制栽培と区別しましょう。

採点 正答で2点。

(4) 地熱発電〔2点〕

火山の多い地域では、地下の熱でできた蒸気などを利用できます。地形や資源と産業を結びつける問題です。

採点 正答で2点。

(5) 冬も温暖で施設を使って野菜を育てられ、高速道路や冷蔵輸送で新鮮なまま大都市へ運べるから。〔4点〕

栽培ができる理由と、離れた消費地に届けられる理由を分けて考えます。

採点 「冬の温暖さを利用して栽培できる」2点（施設への言及は必須ではない）、「高速道路・冷蔵輸送などで新鮮なまま遠くへ運べる」2点。

確認 資料のどこを根拠にしたか、用語を似た言葉と区別できるかを見直しましょう。

第2問 中国・四国地方の気候と交通

〔12点〕

(1) 山陰〔2点〕

中国山地の北側が山陰、南側が山陽です。山陽は瀬戸内海側に位置します。

採点 正答で2点。

(2) イ〔2点〕

中国山地・四国山地が季節風の影響を弱めるため、瀬戸内では比較的雨が少なくなります。

採点 正答で2点。

(3) ため池〔2点〕

雨の少なさを補い、水を蓄えて稲作などに利用する施設です。「ダム」だけではこの地域の代表的な施設を特定できません。

採点 正答で2点。

(4) 本州四国連絡橋〔2点〕

神戸・鳴門、児島・坂出、尾道・今治の三つのルートがあります。

採点 「本州四国連絡橋」で2点。「本四連絡橋」も可。

(5) 農産物を短時間で市場へ運べる一方、住民が島外で買い物をする割合が増え、島内の商店の売上が減るおそれがある。〔4点〕

便利な交通は、地域への流入だけでなく、買い物客の流出も引き起こすことがあります。

採点 出荷時間が短くなる利点2点。買い物先の島外への移動と島内商店の売上減少を結びつけて2点。

確認 資料のどこを根拠にしたか、用語を似た言葉と区別できるかを見直しましょう。

第3問 近畿地方の都市と環境

〔12点〕

(1) 琵琶湖〔2点〕

日本で最も面積の大きい湖です。琵琶湖から流れ出た水は、瀬田川・宇治川・淀川を経て大阪湾へ流れます。

採点 正答で2点。

(2) 京阪神大都市圏〔2点〕

京は京都、阪は大阪、神は神戸を表します。都市どうしが交通や通勤・通学などで結びついています。

採点 正答で2点。

(3) 阪神工業地帯〔2点〕

臨海部の工業に加え、高い技術をもつ中小企業の工場も多く集まっています。

採点 正答で2点。

(4) ウ〔2点〕

高さや外観、屋外広告物などを調整することは、景観を守る方法の一つです。

採点 正答で2点。

(5) 上流で流された汚れは川を通じて下流へ運ばれ、下流の生活用水や産業用水にも影響するから。〔4点〕

行政の境界と川の流域は同じではありません。水の流れで結びつく地域全体で考えます。

採点 上流の汚れが下流へ流れること2点。下流の暮らし・産業の水利用へ影響すること2点。

確認 資料のどこを根拠にしたか、用語を似た言葉と区別できるかを見直しましょう。

第4問 中部地方の自然と産業

〔14点〕

(1) 愛知県〔2点〕

名古屋市は愛知県の県庁所在地です。中京工業地帯の中心都市の一つです。

採点 正答で2点。

(2) 抑制栽培〔2点〕

夏でも涼しい高地で育てることで、平地の出荷が少なくなる時期に出荷します。

採点 正答で2点。

(3) 北陸〔2点〕

新潟県は中学校地理の一般的な三地域区分では北陸に含めます。地域区分は目的によって異なる場合があります。

採点 正答で2点。

(4) 冬の季節風が日本海で水蒸気を含み、日本海側の山地などで上昇して雪や雨を降らせるから。〔4点〕

降水量には雪を水に換算した量も含まれます。季節風の向きと山地の働きを結びつけましょう。

採点 冬の季節風1点、日本海で水蒸気を含むこと1点、日本海側の山地などで上昇して雪・雨になること2点。
指定語句を用いた同意表現可。

(5) 部品を運ぶ距離が短くなり、輸送時間や費用を減らして、必要な部品を届けやすくなる。〔4点〕

組立工場と部品工場の地域的な結びつきに注目します。工場数の多さだけでは利点の説明になりません。

採点 輸送距離が短いこと2点。輸送時間・費用の削減、または必要な部品を迅速に届けられること2点。

確認 資料のどこを根拠にしたか、用語を似た言葉と区別できるかを見直しましょう。

第5問 関東地方の人口と都市

〔12点〕

(1) 関東平野〔2点〕

利根川などの河川が流れ、多くの都市・農地が分布します。

採点 正答で2点。

(2) 京浜工業地帯〔2点〕

京は東京、浜は横浜を表します。千葉県側の京葉工業地域と区別しましょう。

採点 正答で2点。

(3) ア〔2点〕

アは夜間人口より昼間人口が多く、通勤・通学などによる流入が流出を上回る特徴を示します。

採点 正答で2点。

(4) 近郊農業〔2点〕

近い消費地へ短時間で出荷できることを生かします。都市化による農地の減少などの課題もあります。

採点 正答で2点。

(5) 地面がアスファルトなどに覆われて熱を蓄えやすくなり、冷房や自動車などからも熱が出るから。〔4点〕

緑地・水面の減少による蒸発冷却の弱まりも関係します。地表の変化と人工排熱を別々に押さえます。

採点 舗装面や建物の蓄熱、または緑地減少による冷却作用の低下2点。冷房・自動車などの人工排熱2点。

確認 資料のどこを根拠にしたか、用語を似た言葉と区別できるかを見直しましょう。

第6問 東北・北海道地方の暮らしと農業

〔12点〕

(1) やませ 〔2点〕

オホーツク海高気圧などの影響で吹く冷たく湿った風です。低温や日照不足が稲の生育に影響することがあります。

採点 正答で2点。

(2) 酪農 〔2点〕

冷涼な地域の草地などを利用します。畜産のうち、とくに生乳の生産を目的とするものです。

採点 正答で2点。

(3) 輪作 〔2点〕

同じ作物を続けてつくる連作を避け、病害や土壌への負担を抑えるなどのねらいがあります。

採点 正答で2点。

(4) アイヌ民族 〔2点〕

アイヌの人々は独自の言語・文化を受け継いできた先住民族です。歴史や文化の尊重が大切です。

採点 「アイヌ民族」「アイヌの人々」「アイヌ」で2点。

(5) 広い畑では大型機械を使ってまとめて作業でき、少ない労働力で広い面積を耕作できる。 〔4点〕

畑の広さだけでなく、それが機械の使用や労働時間にどう関係するかを書きます。

採点 広い畑で大型機械をまとめて使えること2点。少ない労働力・短い時間で広い面積を作業できること2点。

確認 資料のどこを根拠にしたか、用語を似た言葉と区別できるかを見直しましょう。

第7問 欧米の政治と産業の変化

〔12点〕

(1) 立憲君主制〔2点〕

君主の権力が憲法などによって制限されるしくみです。議会政治の発達とも関連します。

採点 「立憲君主制」「立憲君主政」で2点。

(2) イギリス〔2点〕

植民地の人々は、本国の議会に代表を送れないのに課税されることなどに反発しました。

採点 正答で2点。

(3) 産業革命〔2点〕

生産方法が手作業中心から機械を使う工場生産へ変化し、都市・交通・労働などにも大きな影響を与えました。

採点 正答で2点。

(4) 資本主義〔2点〕

産業革命の進展とともに発達しました。労働者の長時間労働や貧富の差などが問題になりました。

採点 正答で2点。

(5) 工業生産に使う原料を確保し、大量に生産した製品を売る市場を広げるため。〔4点〕

「原料の供給地」と「製品の市場」の二つを区別します。海外進出を正当化する説明ではなく、背景を問う問題です。

採点 工業原料を得ること2点。工業製品を売る市場を得ること2点。

確認 資料のどこを根拠にしたか、用語を似た言葉と区別できるかを見直しましょう。

第8問 開国と江戸幕府の終わり

〔14点〕

(1) ペリー 〔2点〕

翌1854年に日米和親条約が結ばれました。1858年の通商条約の交渉を進めたハリスと区別します。

採点 正答で2点。

(2) 日米和親条約 〔2点〕

1854年に結ばれた条約です。下田・箱館を開きましたが、本格的な貿易開始を定めた条約とは区別します。

採点 正答で2点。

(3) 大政奉還 〔2点〕

江戸幕府の終末につながる出来事です。王政復古の号令と同じ名称ではありません。

採点 正答で2点。

(4) 外国の領事裁判権を認めたこと。日本に関税自主権がなかったこと。 〔4点〕

外国人をその国の領事が裁くしくみと、日本が関税率を自主的に決められないことが重要です。

採点 領事裁判権を外国に認めたこと2点。関税自主権が日本になかったこと2点。「治外法権」も当該の意味で可。単なる「権利がなかった」では不可。

(5) イ→ア→ウ 〔4点〕

アヘン戦争は1840～1842年、ペリー来航は1853年、薩長同盟は1866年です。世界の動きと日本の動きを時系列で結びつけます。

採点 全て正しい順序で4点。部分点なし。

確認 資料のどこを根拠にしたか、用語を似た言葉と区別できるかを見直しましょう。

範囲の考え方と資料の出典

本編は、日本の諸地域の総復習を含む地理・歴史の並行学習モデルです。帝国書院の令和7年度版地理の年間計画例では、九州は1学期、中国・四国～関東は2学期、東北・北海道は3学期です。一方、日本文教出版には日本の諸地域を2学期にまとめて学ぶ計画例があります。全国一律の期末範囲ではないため、学校の試験範囲を優先し、範囲外の大問は復習・先取り練習として使ってください。大問を選んで使う場合の満点は、使用した大問の配点合計です。歴史が範囲外なら差し替え7・8に交換でき、その場合は40小問・100点のままで

出典一覧 資料名をクリックすると元の資料を確認できます。

1. 文部科学省 中学校学習指導要領解説 社会編

確認対象：学習範囲 | www.mext.go.jp (資料名にリンク)

2. 日本文教出版 三分野の学習指導計画 令和7年度版

確認対象：年間計画 | www.nichibun-g.co.jp (資料名にリンク)

3. 帝国書院 中学生の地理・歴史 令和7年度版

確認対象：年間計画 | www.teikokushoin.co.jp (資料名にリンク)

4. 帝国書院 中学生の歴史 年間指導計画案掲載ページ

確認対象：年間計画 | www.teikokushoin.co.jp (資料名にリンク)

5. Natural Earth 1:50m Admin 0 Countries 原データ

確認対象：地図 | github.com (資料名にリンク)

6. 気象庁 新潟 1991～2020年 平年値

確認対象：気候 | www.data.jma.go.jp (資料名にリンク)

7. 気象庁 名古屋 1991～2020年 平年値

確認対象：気候 | www.data.jma.go.jp (資料名にリンク)

8. 農林水産省 九州農政局 南九州地域について

確認対象：自然と農業 | www.maff.go.jp (資料名にリンク)

9. 国立公文書館 激動幕末 五ヶ国条約并税則

確認対象：歴史 | www.archives.go.jp (資料名にリンク)

10. 国立公文書館 日本のあゆみ 年表

確認対象：歴史 | www.archives.go.jp (資料名にリンク)

図表について

問題文・解答・図表は独自に作成しました。架空の数値は各資料に明記し、実際の統計と区別しています。地図はNatural Earthの公開データから本州中央部を切り出し、実際の経緯度に基づく3都市を表示しました。教科書の紙面・問題・図版は転載していません。

資料・制度の確認日：2026年10月4日。法律の条文そのものが必要なときは、上記の公式資料で確認してください。

地理のみで受けた場合の採点用 本編第7問の得点と交換

差し替え7 日本の人口と地域の課題

〔12点〕

(1) 30% 〔2点〕

$4,500 \div 15,000 \times 100 = 30$ です。分母は総人口です。

採点 正答で2点。

(2) 過疎 〔2点〕

単に人口密度が低いというだけでなく、公共交通・医療・商店などの維持にも影響が出る点が重要です。

採点 「過疎」「過疎化」で2点。

(3) 国勢調査 〔2点〕

人口・世帯などを調べる基本的な統計調査です。統計では調査年と範囲も確認しましょう。

採点 正答で2点。

(4) ウ 〔2点〕

総人口は5,000人減り、65歳以上の人口は500人増えています。割合は20%から30%です。

採点 正答で2点。

(5) 利用希望に合わせて運行し費用を抑えられる。スマートフォンを使えない人も電話で予約できるようにする。 〔4点〕

効率だけでなく、移動手段を必要とする人が利用から取り残されない方法も考えます。

採点 利用者数に応じた運行や費用削減などの利点2点。電話予約・車いす対応など利用機会を確保する具体策2点。同様に妥当な案可。

確認 資料のどこを根拠にしたか、用語を似た言葉と区別できるかを見直しましょう。

地理のみで受けた場合の採点用 本編第8問の得点と交換

差し替え8 地域調査と防災

〔14点〕

(1) 250 m 〔2点〕

$1\text{ cm} \times 25,000 = 25,000\text{ cm} = 250\text{ m}$ です。単位の変換に注意します。

採点 正答で2点。

(2) 1.5 km 〔2点〕

$250\text{ m} \times 6 = 1,500\text{ m} = 1.5\text{ km}$ です。

採点 正答で2点。

(3) ハザードマップ 〔2点〕

災害の種類や想定条件を確認して使います。想定浸水区域の外でも安全が保証されるわけではありません。

採点 「ハザードマップ」「防災マップ」で2点。

(4) 経路B。高い土地を通り、想定浸水区域を避けられるから。 〔4点〕

最短距離だけで判断せず、浸水の危険、通行可能性、避難に使える時間などを合わせて考えます。

採点 経路Bを選択1点。高い土地を通ること1点。想定浸水区域を避けられること2点。

(5) 道幅や段差・障害物の有無。夜間の照明や案内標識の有無。 〔4点〕

机上の地図では分からない現地の情報を補う調査です。危険な天候のときに現地調査をしてはいけません。調査は安全な平常時に行います。

採点 道幅・段差・障害物・照明・標識・歩道・崖など、安全に関わる具体的な確認事項を二つ、各2点。似た内容の言い換えは一つとして採点。

確認 資料のどこを根拠にしたか、用語を似た言葉と区別できるかを見直しましょう。